

日本音楽知覚認知学会平成19年度第1回理事会議事録

日時：平成19年5月26日（土）11：00～12：30

開催場所：北海道大学・高等教育機能開発総合センター

出席者：岩宮 眞一郎，大浦 容子，山田 眞司，安達 真由美，荒川 恵子，大串 健吾，佐々木 隆之，菅 千索，谷口 高士，津崎 実，仁平 義明，平賀 譲，星野 悦子，三浦 雅展

1. 会員状況報告

平成19年会員状況報告について報告を行った。

会員総数 338 名（3月31日現在）昨年同時期に比べ2名増

会員内訳：名誉会員 1 名、会友 2 名、顧問 1 名、正会員 278 名、学生会員 56 名

2. 平成18年度事業報告

平成18年度事業報告を行った。

(1)春季研究発表会開催（シンポジウムを同時開催）

平成18年5月20日（土），21日（日）：金城学院大学

研究発表：13件，

シンポジウム企画：音楽と運動（映像）ビートのタイムラグ

—文化化(acculturation)か熟達化(expertise)か

(2)秋季研究発表会開催（日本音響学会音楽音響研究会と共催）

平成18年11月11日（土），12日（日）：金沢工業大学

研究発表：27件，チュートリアル（大串健吾先生，吉川茂先生），特別講演（中山一郎先生）

(3)学会賞授与

研究選奨

平成18年度春季研究発表会

中野倫靖（筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科）

平成18年度秋季研究発表会

該当者なし

論文賞

該当者なし

3. 平成18年度決算報告

資料に基づき，平成18年度の決算案の報告を行った。

4. 平成18年度監査報告

監査結果を報告し，承認した。

5. 19年度事業計画

下記の事業計画を了承した。

(1)研究発表会

・春季研究発表会 北海道大学（代表世話役：吉野巖先生，会場世話役：安達真由美先生）

平成19年5月26日，27日

研究発表 20 件，英語コーチングセッション

・秋季研究発表会 東京藝術大学（世話役：亀川徹先生） 平成19年11月24日，25日

日本音響学会音楽音響研究会との共催

(2)学会誌発行

音楽知覚認知研究 Vol.11-No.1, No.2

「音のデザイン」特集号は、Vol.11-No.1, No.2 に分割して実施（当初は No.2 の予定）

音楽知覚認知研究 Vol.12-No.1, No.2

音楽知覚認知研究 Vol.13-No.1, No.2

の発行を計画している。

なお、Vol.11 は 2005 年度に発行すべきもので、その時点での学会員にのみ送付すべきものであるが、学会員へのサービスとして 2006 年度入会の会員へも送付することにした。

山田編集委員長より、Vol.13 では「音楽と時間」特集号を予定している、本年度中には、発行の遅れを取り戻したいとの報告があった。

選奨受賞者を中心に論文投稿を促して、理事みずからが率先して投稿論文の増加につなげようと申し合わせた。

中島前編集委員長からの提案に基づき、Vol.13 より学会誌の表紙の一番上に編集委員長の名前を出すことにした。

6. 音楽文献目録委員会

昨年度に引き続き、音楽文献目録委員会より、一口 2 万円の助成依頼があり、これに応じることとした。

7. 平成 19 年度予算案

予算案を原案どおり承認した。

8. 日本音楽知覚認知学会研究選奨選考の件

春季研究発表会に関しては、委員が任命された審査にあたる旨の報告があった。

9. 役員改選選挙結果の報告

役員改選選挙結果の報告を報告し、了承した。

10. 会費未納者の扱いについて

資料に基づき、3 年以上の未納者について、督促を行い、それでも未納の場合には除籍することを確認した。

11. ICMPC10 関係

安達理事より、現在の状況について説明と理事への協力依頼があった。岩宮会長より日本音楽知覚認知学会国際活動支援基金の状況を報告した。

12. 研究発表会資料の著作権について

三浦理事より、秋季研究発表会から、発表者より「原稿の利用に関する許諾」をもらうようにしたいとの提案があり、了承した。

13. その他

学会誌編集担当幹事として田中吉史先生(金沢工業大学)、研究発表会担当幹事として藤沢望先生(長崎シーボルト大学)の推薦があり、承認した。

国際渉外担当は、中島理事、安達理事が担当を継続する。

学会賞担当は、荒川理事ともう 1 名に仁平新会長(予定)が依頼の上、担当してもらうこととした。